

水際線まちづくりコンセプトプラン

YOKOHAMA HARBORFRONT



はじめに

臨港パークから山下公園、そして山下ふ頭へとつながる水際線には、美しい港の風景、豊かな緑、日本新三大夜景都市に選ばれた夜間景観、世界最大級の音楽アリーナ、そして観光・商業施設など、多彩な魅力が集積し、まちと海が近い横浜ならではの景観を生み出しています。

ここにしかない水際線の魅力を更に磨き上げ、国内外から人々が訪れ、集い、憩う、世界に誇れる水際線「YOKOHAMA HARBORFRONT」をつくりあげるため、2029年度の完成に向けて、目指す姿やまちづくりの進め方、具体的な整備の方向性等をまとめたコンセプトプランを策定しました。

市民の皆様と共に作り上げたこのコンセプトプランを礎に、美しい海辺の景色を楽しみながら快適に移動できる歩行者空間や、象徴的なグリーン空間など居心地の良い滞在空間、来街者がつい立ち寄りたくなる新たな魅力スポットなどを創出することで、国内外の多くの方々に新たに生まれ変わる水際線「YOKOHAMA HARBORFRONT」を体感していただけるよう取り組んでいきます。

2026 (令和8) 年3月



横浜市長 山中 竹春



目次

水際線とは	5
水際線の魅力	7
水際線まちづくりの目指す姿	9
まちづくりの進め方	10
まちづくりのコンセプト	12
エリア全体でのまちづくりの視点	13
整備の方向性	14
—水際線の5つのエリア	
1 臨港パークエリア	15
2 ハンマーヘッド周辺エリア	23
3 赤レンガエリア	27
4 象の鼻エリア	33
5 山下公園エリア	39
—5つのエリアのつながりの強化	45
1 照明	
2 水際線ルートサイン	
—水際線とまちのつながりの強化	51
1 横浜駅～臨港パーク	
2 みなとみらい駅～臨港パーク	
3 結節点サイン・矢羽根サイン	





